

平成 29 年 10 月 30 日

**【記者発表のお知らせ】****ALS（筋萎縮性側索硬化症）の進行抑制と延命効果が期待される
高用量メコバラミン製剤の第 III 相医師主導治験の開始について**

徳島大学病院では、発症後 3～4 年で呼吸筋麻痺をきたす難病の筋萎縮性側索硬化症（ALS）の平均余命（呼吸補助装置の装着あるいは死亡までの期間）を 600 日以上延長させる可能性のある製剤の承認に向けた第 III 相試験を開始します。これまでの臨床試験では副作用は比較的少なく、本治験では 4 か月の試験期間を経たのち、条件に合う治験参加者に対して実薬が供給されます。

以上の内容に関する記者説明会を、下記のとおり開催させていただきますので、ご多用中とは存じますが、ご取材いただきますよう、よろしくお願いたします。FAX またはメールで 11 月 6 日までにお申し込みください。

記

日 時：平成 29 年 11 月 7 日（火） 18：15～19：00
会 場：リファレンス新東京ビル 貸会議室 C
（〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3-3-1 新東京ビル 地下 1 階）

発表者と発表内容：

- 1 「ALS（筋萎縮性側索硬化症）の説明と本治験スタートまでの経緯」
徳島大学大学院医歯薬学研究部 臨床神経科学分野 教授 梶 龍児
- 2 「本治験の具体的な内容・治験参加者の要件・スケジュールについて」
徳島大学病院 神経内科 治験調整医師 和泉 唯信

お問い合わせ先

部局名 徳島大学病院
責任者 病院長 永廣 信治
担当者 徳島大学 ALS 治験記者会見担当
梶龍児 / 宇山恵子
電話番号 090 - 6530 - 9124
メールアドレス uyamahbr@gmail.com
k-uyama.adm@tmd.ac.jp

F A X 送信先
0 3 - 6 2 7 6 - 2 6 5 0

【記者発表のお知らせ】

**ALS（筋萎縮性側索硬化症）の進行抑制と
延命効果が期待される
高用量メコバラミン製剤の
第 III 相医師主導治験の開始について**

日 時 : 平成 2 9 年 1 1 月 7 日 (火) 1 8 : 1 5 ~ 1 9 : 0 0
会 場 : リファレンス新東京ビル 貸会議室 C
(〒100-0005 東京都千代田区丸の内 3 - 3 - 1 新東京ビル 地下 1 階)

参加者氏名 _____

媒体名（会社名） _____

メールアドレス _____

電話番号 _____